

(様式8)

公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成30年11月30日)

事業コード	H30-建-終-01	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	総合流域防災事業	部 局 課 室 名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修	班 名	河川・ダム・海岸班 (tel)018-860-2514
路線名等	二級河川 竹生川	担 当 課 長 名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	能代市比八田	担 当 者 名	副主幹(兼)班長 加賀 良宏
政策コード	11	政 策 名	県土の保全と防災力強化
施策コード	02	施 策 名	健全な県土保全の推進
指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業の背景 及目的	竹生川は、川幅が狭く、大きく屈曲しており、大規模な降雨によって度々出水し、沿川の集落や耕地に深刻な浸水被害をもたらしていた。河道を整備、拡大することにより浸水被害の発生を未然に防止し、地域住民が安全で安心に生活できる地域づくりを目的に事業を実施。						
事業効果の 要因変化 及び発現 状況	事業期間	前回(H25年) S 58年 ~ H 26年 終了 S 58年 ~ H 28年	総事業費	前回(H25年) 48.8億円 終了 49.1億円	国庫補助率	1/2	
	事業規模	前回(H25年) 計画延長 L=5,420m 計画高水流量 Q=250m ³ /S 終了 計画延長 L=5,420m 計画高水流量 Q=250m ³ /S					
	事業費 内訳内容 (千円) 及び 要因変化		前回評価計画①	最 終②	増減②-①	理 由	
		事業費	4,880,000	4,907,800	27,800		
		経 費 内 工 事 用 補 其 他	3,683,000	3,710,800	27,800	労務費、資材単価の上昇による。	
			440,000	440,000	0		
			757,000	757,000	0		
	事業内容	掘削、築堤 護岸、道路橋 JR橋 取水施設	掘削、築堤 護岸、道路橋 JR橋 取水施設				
	コスト・効果対比較			費用便益変化の主な要因(前回評価→終了)			
	○最終コスト 終了C②/前回評価C①=(1.01)		【便益】 事業費の増額により費用便益比が小さくなった。				
○費用便益 前回評価B/C=(2.63) ↓ 終了B/C=(2.62)		【費用】 工事単価の上昇により増額となった。					
目 標 達 成 率	指 標 名	河川整備率					
	指 標 式	河川改修済み延長/要改修延長					
	指標の種類	○成果指標 ●業績指標	低減指標の有無	○有 ●無			
	目 標 値 a	45.9%	データ等の出典	河川砂防課			
	実 績 値 b	46.0%					
	達成率 b/a	100.2%	把握の時期	平成30年 3月			
指標を設定できなかった場合の効果の把握方法 ○指標を設定できなかった理由及び把握方法と成果 ※データの出典含む							
自然環境の 変化	・竹生川の流れは緩やかで、田圃の中を適度に蛇行しながら流下しており、河川と田が一体となった水辺空間を形成している。河川の自然環境においても、工事終了後ある程度経過した区間では緑が生い茂り、緩やかな流れを形成している。						
社会経済 情勢の変化	・近年の異常気象により洪水被害のリスクが高まっている中、河川整備を行ったことで治水上の安全度が向上したことにより、周辺住民の安全・安心が図られている。						
事業終了後の 問題点及び管 理・利用状況	・特になし						

住民満足度等の状況 (事業終了後)	①満足度を把握した対象 ●受益者 ○一般県民 (時期: H30年 8月) ②満足度把握の方法 ●アンケート調査 ○各種委員会及び審議会 ○ヒアリング ○インターネット ○その他の方法 (具体的に) ③満足度の状況 治水・利水・環境・維持管理等について満足度のアンケートを行ったが、概ね、肯定的な意見が否定的な意見を上回っている。
上位計画での位置付け	第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて基本政策(県土の保全と防災力強化)として位置づけられていた。
関連プロジェクト等	特になし
前回評価結果等	●選定または継続 ○改善 ○見直し ○保留又は中止 ①指摘事項 特になし ②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 結 果
有 効 性	①住民満足度の状況 ●A ○B ○C 多数の住民が本事業の主な目的である治水に対して肯定的に評価しており、総合的に満足度は高かった。	●A
	②事業の効果 ●A 達成率100%以上 ○B 達成率80%以上100%未満 ○C 達成率80%未満 事業完了により、計画された治水安全度が確保され、事業による有効性は高い。	○B ○C
効 率 性	①事業の経済性の妥当性 ●A ○B ○C 費用便益費は1.0を上回っていることから、本事業は経済性において妥当である。	●A
	②コスト削減の状況 ○A 縮減率20%以上 ○B 縮減率20%未満 ○C 縮減なし	○B ○C
総合評価	●A (妥当性が高い) ○B (概ね妥当である) ○C (妥当性が低い) 計画に沿って事業の進捗が図られ、住民の生命・財産の保全に寄与している。また、住民満足度からも成果が認められていることから、総合的に判断して事業の妥当性は高いと評価できる。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

事業開始前の予備調査や設計段階での現場の把握、他事業との調整等により河川事業の効果が十分に発揮されるよう検討・設計を行う。また、工法の工夫等によるコスト削減にも取り組み、効率的な事業執行を図り、高い満足度を得られるよう努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

--

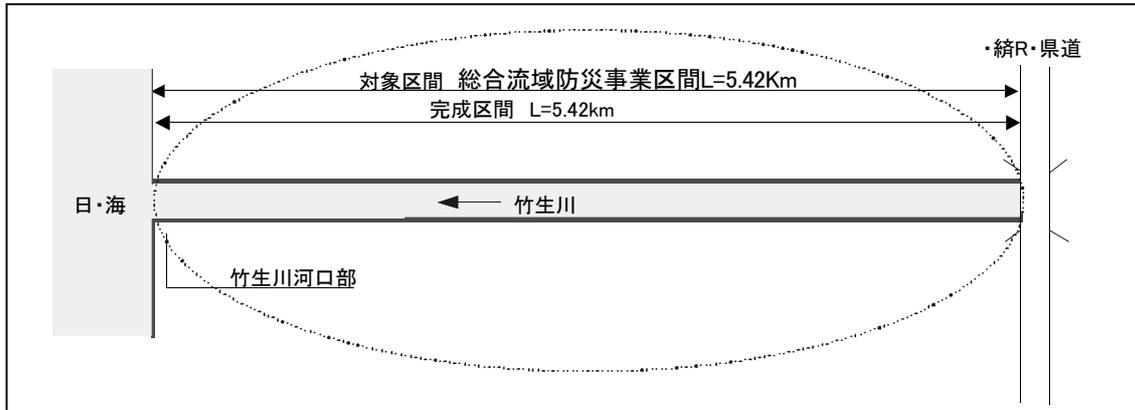
○総合評価の判定基準

総合評価の区分	判 定 基 準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	

竹生川 総合流域防災事業 費用対効果 (B/C) 算定内訳

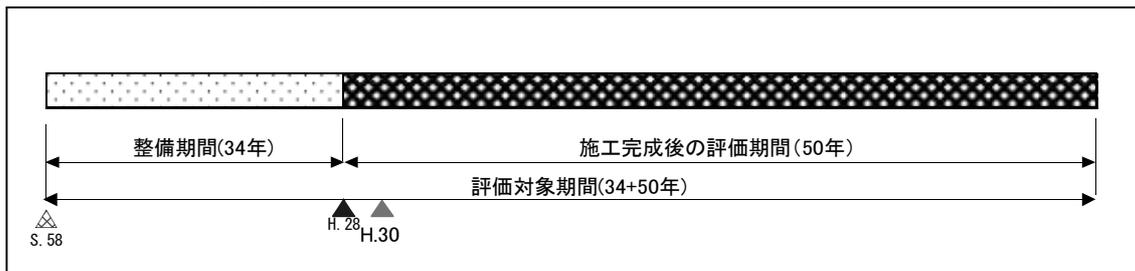
対象区間

竹生川河口部から夏井沢川合流点までのL=5.42km対象とし、当該事業全体の経済評価を行う。



評価期間

84年間 [整備期間(34年)+整備後の評価期間(50年)]



- △ 事業着手
- △ 評価時点
- △ 治水施設完成

便益・費用算定

便益算定

シュミレーションにより求めた浸水の深さから、被害額を算定する。
 (洪水規模毎の被害額) × (区間確率) × (年平均被害額)
 Σ (年平均被害額) = 年平均被害低減期待額

費用算定

各年毎の事業費(建設費, 維持管理費)を現在価値化する。

費用対効果

B : 年平均被害低減期待額(現在価値化) × 評価期間(整備期間34年+50年) + 残存価値
 = 33,277,000 千円
 C : 建設費(現在価値化) + 維持管理費(現在価値化)
 = 12,687,000 千円

①費用便益比(B/C)

B/C
 = 33,277,000 / 12,687,000
 = 2.62

②純現在価値(B-C)

B-C
 = 33,277,000 - 12,687,000
 = 20,590,000 千円

竹生川河川改修事業 事業評価アンケート調査結果 ～ 概要版 ～

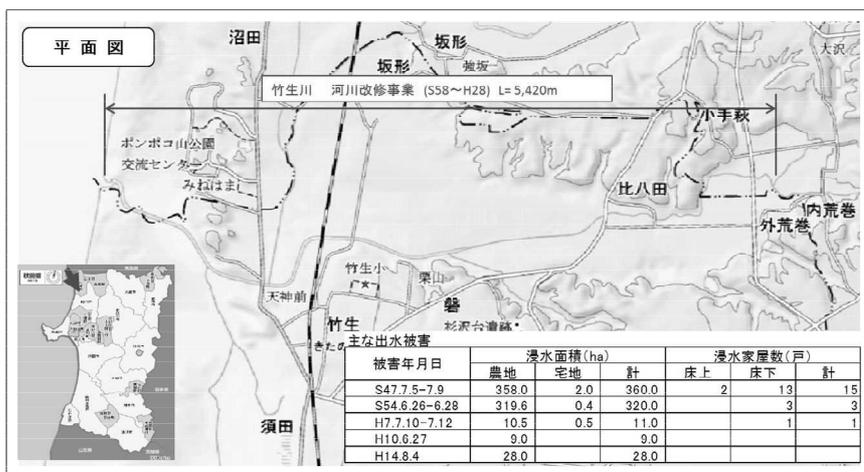
■調査概要

□目的

周辺住民の竹生川河川改修事業実施による満足度を把握するとともに、現状の課題・問題点把握を目的にアンケート調査を実施した。

□調査対象範囲

治水面の効果が及ぶと考えられる、対象範囲内（下図）の6町内会、213世帯（下表）をアンケートの対象とした。



番号	町内会名	世帯数
1	竹生	97
2	栗山	27
3	小土	18
4	比八田	39
5	外荒巻	10
6	小手萩	22
	計	213

□配布及び回収

アンケートは、自治会長より地域住民（213戸）へ全戸配布していただき、回収は郵送で行った。

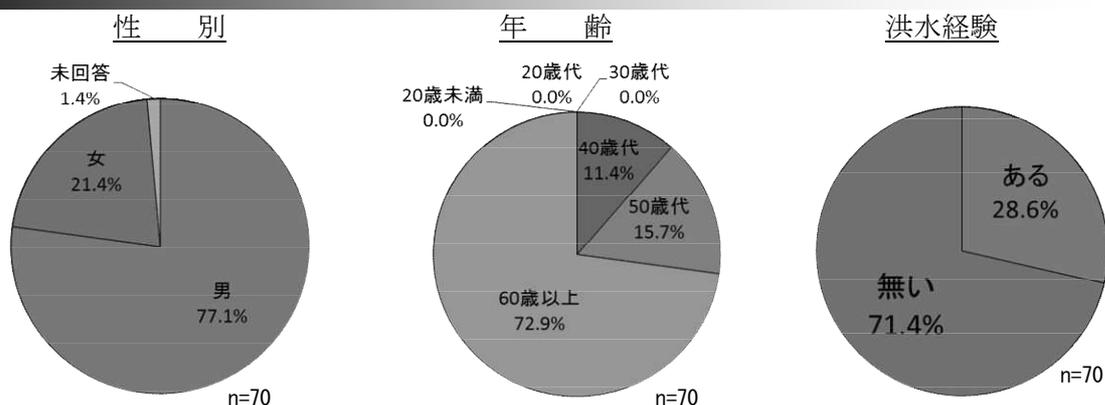
□調査期間

平成30年7月25日～平成30年8月30日（37日間）

□アンケート回収率

配布数	回収数	回収率
213部	70部	32.9%

■回答者の属性

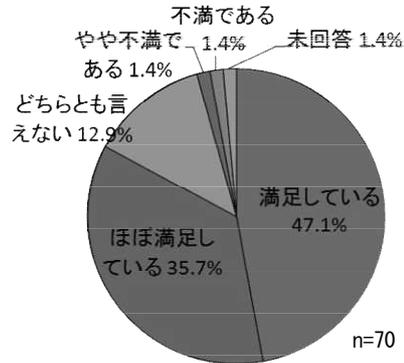


■河川改修事業による効果

□治 水

問2 整備後、洪水などからの安全性について満足度でお答えください。

- ・満足している及びほぼ満足しているが全体の約 83%であった。
- ・不満及びやや不満は全体の約 3%であった。

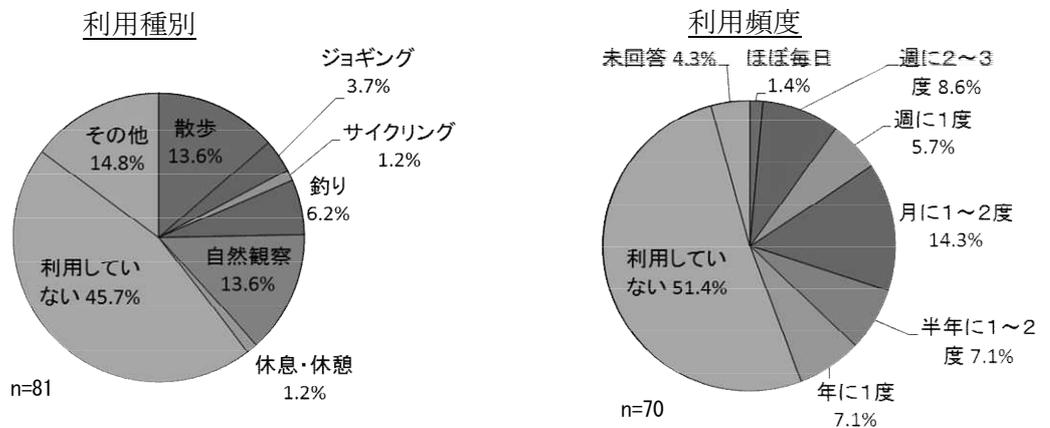


□利 用 (親 水)

問3 日頃、竹生川をどのように利用されていますか？（複数回答）

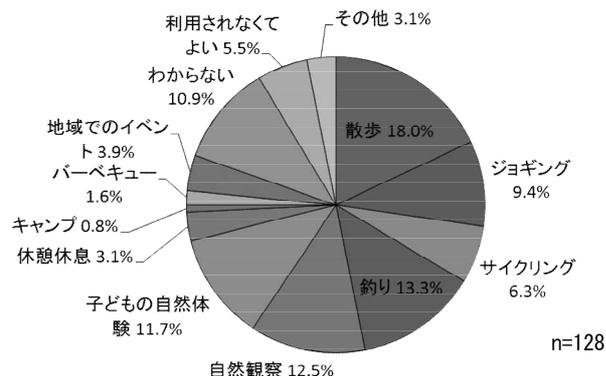
また、利用頻度は？

- ・利用種別として散歩が約 14%と多く、また利用していないが約 46%である。
- ・利用頻度は約半数が利用しているものの、利用していないも約半数ある。



問3 今後どのように利用されれば良いか？（複数回答）

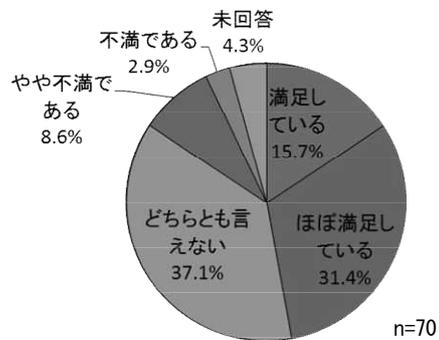
- ・全体の約 81%で、河川利用の意向がある。
- ・利用されなくてよいは約 6%と少数である。



□ 環 境（自然環境）

問4（1） 整備後の自然環境について満足度でお答えください。

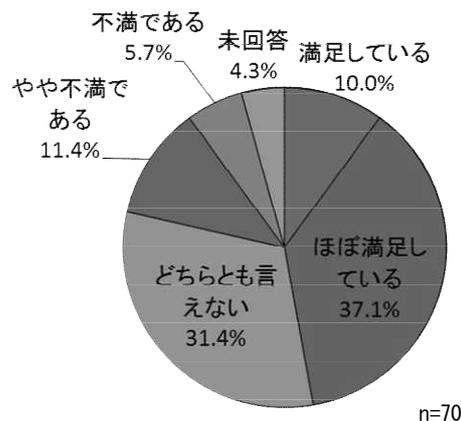
- ・満足している及びほぼ満足しているが全体の約 47%であった。
- ・不満及びやや不満は全体の約 11%であった。



□ 環 境（風 景）

問4（2） 整備後の風景について満足度でお答えください。

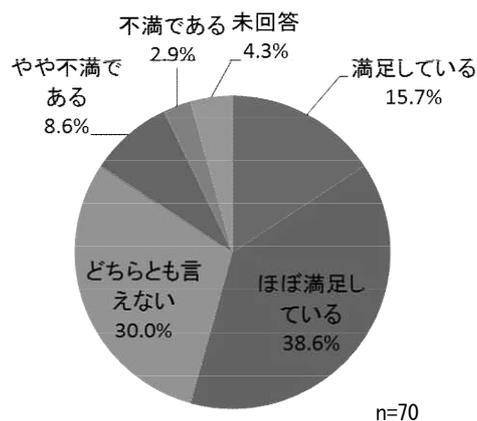
- ・満足している及びほぼ満足しているが全体の約 47%であった。
- ・不満及びやや不満は全体の約 17%であった。



□水 質

問5 整備後の水の「きれいさ」について満足度でお答えください。

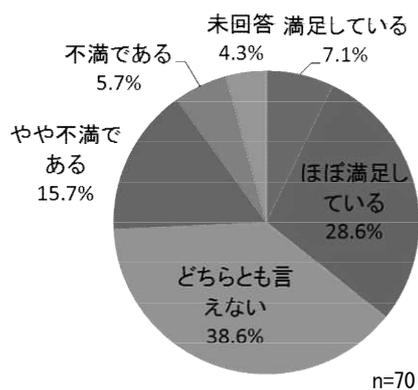
- ・満足している及びほぼ満足しているが全体の約 54%であった。
- ・不満及びやや不満は全体の約 11%であった。



□親しみやすさ

問6 整備後は親しみやすい環境になっているか満足度でお答えください。

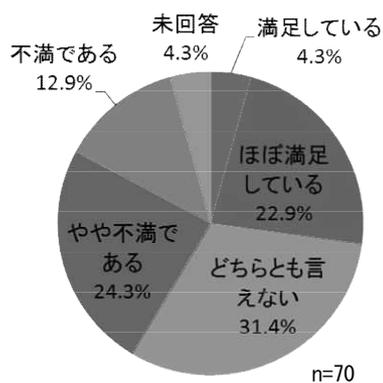
- ・満足している及びほぼ満足しているが全体の約36%であった。
- ・不満及びやや不満は全体の約21%であった



□維持管理について

問6 整備後の維持管理について満足度でお答えください。

- ・満足している及びほぼ満足しているが全体の約27%であった。
- ・不満及びやや不満は全体の約37%と満足・ほぼ満足の合計割合を上回った。



□その他、自由意見

問7 竹生川について日頃感じていることやご要望・ご意見などご自由にお書きください。

主な意見、要望等は、次のとおりであった。

●治水について

- 川幅が広くなったので、雨が降っても洪水の心配もなく安心しています。
- 工事の完成により以前のように大雨でも氾濫がないため、満足しています。
- 人口が減っている現状ではあまり無理な整備等は無用であり、遊歩道等もう必要のない事業と思われます。

●環境について

- ホタルをみたい。昔はホタルがいたときいたことがある。

●水質・ゴミについて

- 家庭用雑水が竹生川に合流していると思われる。下水の処理を優先して実施すべきと思う。せめて家庭用雑水だけでも問題解決を。
- 昔は川に入る等した記憶がありますが、今は入れる感じ（水質）ではないと感じています。
- 川の環境整備により水がきれいになったので、鮭のそ上による鮭のふ化が見られるような川になってほしいと思います。そのためには、稚魚の放流が必要となると思います。

●景観について

- ところどころで良いので桜並木がほしいです。きっといつか美しい風景が見られると思います。

●親水について

- 川沿いに散策できる道をお願いしたいと思います。
- 女性が1人で歩いていても安全で、散歩・ジョギングが楽しい場所にしてほしい。車を停めておくスペースもあるといい。

●維持管理について

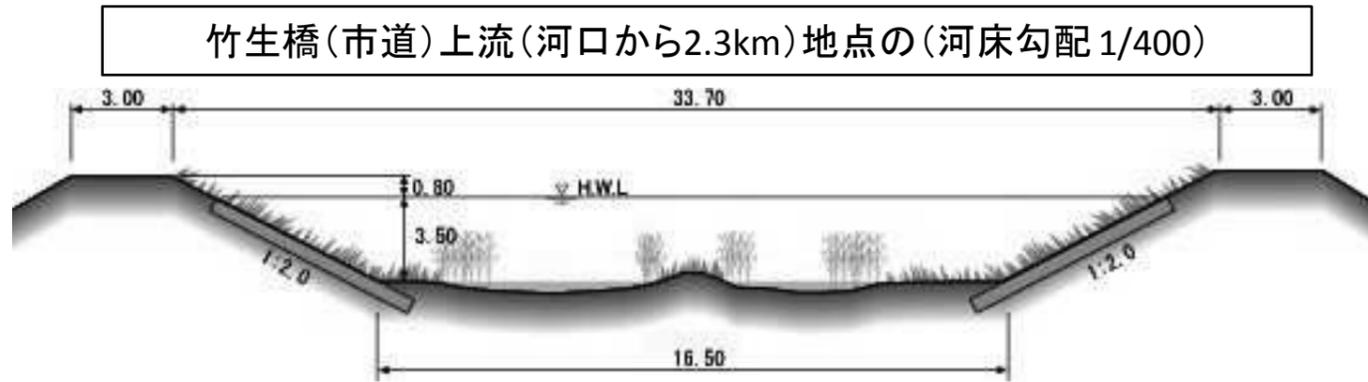
- 所々に泥が溜まり、水の流れが悪い所が見られる。
- 川の中に木が生え始め、せまくなりつつある。木の伐採をお願いしたい。
- 河川整備後法面の草刈はほとんど行っていない。地域の住民の意見を聞く場を設けてほしい。
- 防災・景観上、定期的な草刈り等の維持管理が必要ではないか。

●その他意見

- 利用してもらいたいということであれば、竹生川についてのこんな場所だとか、パンフレットを作り、市民に周知することも必要では。

平成30年度 公共事業箇所評価【終了評価】 竹生川（能代市）

河道標準断面図



全景写真



平面図

